

令和2年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>新型コロナウイルス感染症による文化・スポーツ分野への影響を回復し、将来の更なる発展を目指した取組を進めます。</p> <p>また、保護者の経済状況の悪化など困難に直面する高校生・大学生が安心して学業に専念できるよう、支援します。</p>	<p>① <u>新型コロナウイルス感染症により苦境に陥っている文化芸術関係者に対する支援を進めるとともに、新しい生活様式等に配慮しながら、府内の文化芸術活動を再び盛り上げるための取組を集中的に行います。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな補助金の創設や文化芸術関係者のための専門相談窓口の設置により、活動自粛等に伴う文化芸術関係者の不安に寄り添い、伴走支援を行います。 ○ 活動再開・反転攻勢期には、府内の文化芸術活動を再び盛り上げるための様々な取組を集中的に行えるよう準備を進めます。 <p>② <u>令和3年に延期された東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、サンガスタジアム by KYOCERA等に五輪壮行試合等を誘致し開催の機運を醸成するとともに、府民のスポーツへの関心を高め、自粛等を余儀なくされてきた府内のスポーツ活動等を再び盛り上げます。</u></p> <p style="margin-left: 20px;">＜五輪壮行試合等誘致：サッカー男子U-23 国際親善試合、なでしこジャパン国際親善試合ほか＞</p> <p>③ <u>私立高校生や大学生等が、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した等の経済的事情により学業を断念することがなく、安心して修学できる修学環境を確保します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちがこれまで以上に安心して修学できるよう、本年度から対象世帯の拡大など支援拡充した「あんしん修学支援制度」により、私立高校の経済的理由による中退者をゼロにします。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮し、大学生が安心して学業に専念できるように、大学に係る対面授業再開のガイドラインを策定します。 ○ 府内の大学において、「高等教育修学支援新制度」による授業料等の減免や給付型奨学金のほか、「特別定額給付金」や「生活福祉資金貸付制度」などの施策を総合的に活用して大学の相談体制を支援し、大学生の修学環境の確保を行います。

令和2年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p>文化庁の本格移転を見据えて、文化力による地域の活性化等に向けた新しい文化行政を進めます。</p>	<p>① <u>令和元年10月に策定した「京都府総合計画」の「文化創造」きょうとチャレンジに基づき、文化首都・京都からの文化振興に取り組みます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 京都作家マーケット開拓支援 国際的なアート展については、開催を令和2年11月から令和3年2月に延期し、WITH・POSTコロナを見据えた取組を推進します。 <「アートコラボレーション京都」の開催：販売成約額 60,000千円（新規）> <「アーティストフェア京都」の開催：販売成約額 30,000千円（H30：25,515千円）> ○ 北山「文化と憩い」交流構想 旧総合資料館跡地を活用した「シアターコンプレックス」や、開園100周年を迎える府立植物園など、芸術の発信や賑わい・交流機能を有する施設の整備に向け、今年度はエリア全体のコンセプトや施設配置計画、導線計画の検討等、北山エリア整備計画を策定します。 ○ 地域文化継承プロジェクト 地域に受け継がれてきた祭りや伝統芸能を次世代に継承するため、地域の祭り等の主体が求める支援や現状の把握を振興局と協力して行い、将来の対策につなげます。 <p>② <u>文化庁の早期の本格移転に向けて、施設整備などの準備を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化庁が入居する現京都府警察本部本館の改修及び京都府と共用する新行政棟の建設工事を着実に進めます。

令和2年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
3	<p>スポーツを通じて誰もが親しみ夢広がる社会を実現するため、府民のスポーツへの関心・意欲を高めるとともに、活動の拠点となる施設整備の推進、競技力の向上や地域の交流促進を進めます。</p>	<p>① <u>ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催に合わせ、大会の PR、啓発イベントの実施や海外からの参加者拡大に向けた取組等を通じて、府民のスポーツへの参加機運の醸成やスポーツによる地域活性化に繋がります。</u></p> <p>② <u>「する」「みる」「ささえる」の観点から府民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。</u></p> <p>○ 「京都トレーニングセンター」における医科学的なトレーニング指導により、未来のオリンピック・パラリンピアンを目指す子どもたちを応援するとともに、障害者や中高年層に、それぞれのニーズにあったトレーニングを提供し、スポーツに親しむ人口を増やします。 <small><京都トレーニングセンターの利用者数：8,000人（R1：14,785人）></small></p> <p>③ <u>新型コロナウイルス感染症の影響からの社会の回復状況を踏まえ、サンガスタジアム by KYOCERA を核とした府民のスポーツへの参加機運の醸成や、地域のにぎわいづくりに取り組みます。</u></p> <p>○ サンガスタジアム by KYOCERA を舞台として青少年とトップアスリートとの交流会などを開催し、スタジアムを核としたスポーツの裾野拡大に取り組みます。</p> <p>○ 亀岡市等と協力し、スタジアム周辺の立ち寄りスポットづくりや、湯ノ花温泉等既存の観光資源との連携など、スタジアムを核としたにぎわいづくりを促進します。また、新たに設けるサイネージやスマホアプリを活用して中北部地域の魅力をPRし、より広域的なにぎわいの創出を図ります。</p>

令和2年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
4	<p>大学・学生との連携・協働による地域の活性化に取り組むとともに、京都府公立大学法人第三期中期目標に基づき、府立医科大学・府立大学の取組を支援します。</p>	<p>① <u>京都の成長戦略の核となる大学の知の資産を活かし、大学・学生と市町村、産業界の連携を進め、地域の活性化と人材育成に取り組めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学と市町村、産業界との連携を推進する「人・まち・キャンパス連携支援事業」や、大学と情報共有を行う仕組みの構築など、大学との連携による地域活性化と地域に貢献できる人材の育成を進めます。 <small style="padding-left: 20px;">＜プロジェクト数：20プロジェクト（R1：17プロジェクト）、参加学生数：延5,000人（R1：延3,968人）＞</small> ○ 京都学生祭典への参加学生数を増加させ、大学間連携を強化するとともに、学生の力による地域活性化を促進し、「大学のまち・京都」の魅力を広く発信します。 <div style="text-align: right;"><small>＜参加学生数：2,000人（R1：1,388人）＞</small></div> <p>② <u>WITH コロナ社会において、府立2大学の学生が安心して学業に取り組めるよう、遠隔授業を行うための施設整備や、授業料減免など学生の負担軽減策を充実させます。</u></p> <p>③ <u>府立医科大学において、施設整備構想の策定及びメディカルセンター整備を進めます。また、附属北部医療センターにおいて、今後の整備構想策定に向けた検討を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学・附属病院において、高度で安全な医療を提供するため、施設全体の整備構想策定を進めます。 ○ 附属病院において、専門的かつ最適な医療を提供するメディカルセンターの整備を進めます。 ○ 附属北部医療センターの施設整備に向け、診療や教育研修機能など、今後の北部医療センターのあり方の検討を進めます。 <p>④ <u>府立大学において、産業界など社会の要請を踏まえた教育研究体制の構築を図り、その実現に必要な施設整備構想の策定を進めます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和食文化の保護・継承・発展とともに、その知見を国内外に発信できる創造性豊かな人材を育成します。また、和食文化を核とした新たな大学連携、産学公連携を推進します。 ○ 社会経済情勢の変化や要請に対応した教育研究体制構築を図り、情報による新しい価値創造など、社会の持続的な発展に貢献できる学部・学科の再編検討を進めます。 ○ 北山エリア整備との整合性を図りつつ、老朽化した体育館の再整備を含め、学部再編や最新の教育・研究環境の整備充実にも対応した施設整備構想の策定を進めます。